

淵江高等学校 令和3年度 教科(情報) 科目(社会と情報) 年間授業計画

教科: 情報 科目: 社会と情報 単位数: 2単位

対象学年組: 第1学年A組~E組

教科担当者: (B、D、E組: 船越 A、C組: 岡田)

使用教科書: (「新・見てわかる社会と情報」日本文教出版)

使用教材: ()

	指導内容	科目社会と情報の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の授業とは ○タイピングの基本 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の目的、諸注意、成績等について。 ○ホームポジションで入力するよう指導する。 ローマ字入力の方法 F7~F10キーの使い方 ショートカットキー 		6
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○タイピング練習 ○情報受信の留意点 ○情報発信の留意点 (情報モラル) ○情報とは 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回授業の始めに10分程度タイピング練習を行う。 各自で定期的に目標を立て、技能が向上するよう主体的に取り組ませる。 ○正しい情報の確認方法。 情報の取捨選択 偏った情報 など ○相手の立場に立った情報発信。 言論の自由と裁判 プロバイダーでわかる情報 ○情報関連用語で説明する。 	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点(欠席遅刻) ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p>考查点、課題点 ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容(基本)を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	6
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○タイピング練習 ○確認テスト ○表計算ソフトの基本 ○実戦練習 ○確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回授業の始めに10分程度タイピング練習を行う。 各自で定期的に目標を立て、技能が向上するよう主体的に取り組ませる。 ○情報関連用語・発信・受信、タイピング。 ○教科書を利用して次の内容を指導する。 ・セルの書式設定 ・四則演算 ・関数 ・グラフをつくる ・並べ替え ・条件判定(IF関数) ○表計算ソフトについて課題を行うことで復習をする。 知識の定着を図る。 ○表計算ソフト。 	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点(欠席遅刻) ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p>考查点、課題点 ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容(基本)を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	8

	指導内容	科目社会と情報の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	<p>○タイピング練習</p> <p>○パソコン関連用語</p> <p>○パソコンの便利さ</p>	<p>○毎回授業の始めに10分程度タイピング練習を行う。 各自で定期的に目標を立て、技能が向上するよう主体的に取り組ませる。</p> <p>○パソコンの授業をやっていく上で必要な用語について説明する。</p> <p>○文書処理・表計算・プレゼンテーション・データベースソフトを例示をあげて便利さを具体的に説明する。</p>	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点(欠席遅刻) ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p>考查点、課題点 ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容(基本)を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	4
8月				
9月	<p>○タイピング練習</p> <p>○文書処理ソフトの基本</p>	<p>○毎回授業の始めに10分程度タイピング練習を行う。 各自で定期的に目標を立て、技能が向上するよう主体的に取り組ませる。</p> <p>○教科書を利用して次の内容を指導する。 ・パソコンで使う用語 ・ページ設定 ・文字の設定 (フォント、文字飾り) ・表の挿入と編集 ・図の挿入と編集 (オンライン画像、基本図形、外部ファイル、レイアウト設定)</p>	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点(欠席遅刻) ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p>考查点、課題点 ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容(基本)を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	7

	指導内容	科目社会と情報の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>○タイピング練習</p> <p>○実戦練習</p> <p>○確認テスト</p> <p>○知的財産権の体系</p> <p>○著作権</p>	<p>○毎回授業の始めに10分程度のタイピング練習を行う。</p> <p>○文書処理ソフトについて初級・中級の課題を行うことで復習をする。 知識の定着を図る。</p> <p>○文書処理ソフト。</p> <p>○産業財産権、著作権、種苗法など知的財産権の体系 産業財産権、著作権、種苗法はそれぞれ同じ観点で考えることができることを理解させる。</p> <p>○知的財産権を守ることが文化、産業の発展につながる点を理解させる。 著作権は変化することを理解させる。</p>	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点(欠席遅刻) ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p>考查点、課題点 ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容(基本)を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	8
11 月	<p>○タイピング練習</p> <p>○個人情報の保護 肖像権</p> <p>○判例</p> <p>○確認テスト</p>	<p>○毎回授業の始めに10分程度タイピング練習を行う。</p> <p>○個人情報の流出の怖さを理解させる。 現代において肖像権やプライバシーの問題が大切である点を理解させる。</p> <p>○個人情報の流出の怖さを理解させる。 ○判例を使ってまとめを行い、興味関心を高めるよう配慮する。</p> <p>○知的財産権。</p>	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点(欠席遅刻) ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p>考查点、課題点 ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容(基本)を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	8
12 月	<p>○タイピング練習</p> <p>○プレゼンテーションソフトの紹介</p> <p>○プレゼンテーションソフトの基本</p>	<p>○毎回授業の始めに10分程度タイピング練習を行う。</p> <p>○アニメーションを駆使して作品、見やすい作品、見づらい作品を提示し、情報発信の総まとめという位置づけで、受信者から見ての作品作りの大切さを分からせる。</p> <p>○淵江高校の紹介の教材で次の内容を指導する。 ・文字、文書入力の方法 ・スライドレイアウト、デザインの変更 ・画面の切り替え</p>	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点(欠席遅刻) ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p>考查点、課題点 ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容(基本)を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	5

	指導内容	科目社会と情報の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○タイピング練習 ○プレゼンテーションソフトの基本 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回授業の始めに10分程度タイピング練習を行う。 ○淵江高校の紹介の教材で次の内容を指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・画面の切り替え ・写真、グラフの活用 ・アニメーションの設定 ・スライドマスタ、映像の加工など時間があれば応用まで進む。 	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点（欠席遅刻） ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p><u>考查点、課題点</u> ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容（基本）を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	7
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○タイピング練習 ○実戦練習 ○確認テスト ○これからの情報化社会 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎回授業の始めに10分程度タイピング練習を行う。 ○復習の位置づけで同じ課題を再度行う。 ○文書処理ソフト、タイピング。 ○情報化社会で気を付けること。 <ul style="list-style-type: none"> ・影の部分を意識した情報化社会（IT活用）への取り組むことができるよう導く。 ・ネット依存、携帯依存にならぬようアドバイスをする。 	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点（欠席遅刻） ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p><u>考查点、課題点</u> ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容（基本）を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	7
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間のまとめ 	<p>各自のパソコン実習達成度に応じて、文書処理ソフトと表計算ソフトそれぞれにおいて「4級」「3級」の問題に挑戦する。</p>	<p>知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度を総合的に評価する。</p> <p>平常点 ○実習への教材準備や時間中の私語なく集中して取り組んでいるかという観点 ○出席点の観点（欠席遅刻） ○指示を聞いて着実にこなすという観点</p> <p><u>考查点、課題点</u> ○実習については、単元が終るごとにパソコンを使って行う。 ○授業内容（基本）を理解実践できるかどうかを確かめるという観点で行う。 ○座学については、小テスト形式で授業時間内で行う。</p>	4